

# 川根本町 図書室だより

# 9月

2021年9月号



- ・文化会館図書室(小長井)
- ・山村開発センター図書室(上長尾)
- ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース  
TEL:0547-59-3106(文化会館)  
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(19日)・祝日の翌日(21日、24日)
- ☆ やまびこ号巡回コースは



川根フォン、町のホームページでご確認いただけます。  
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

## 新 着 図 書



『遺言未滿、』 椎名誠 著 集英社

その時、どう果てるのか

【エッセイ】 文



「ぼくなどはもうとうに"死亡適齢期"に入っていたのだ」。  
お骨でできた仏像、葬祭業界の見本市、元路上生活者の人の共同墓、海洋散骨.....。  
超高齢化社会日本で白熱する「よき逝き方」をめぐる現場に、カメラを手に接近し考えた3年間の"エンディングノートをめぐる旅"。

『誤嚥性肺炎にならない35の習慣』 西山耕一郎ほか 監修  
むせる・せきこむをスッキリ改善!』 宝島社

健康寿命を延ばす!

【健康】 山



嚥下能力が落ちてきている人や誤嚥性肺炎予備軍の人に向けて、のどや肺の構造・働きをわかりやすく解説し、飲み込み力と呼吸力がアップするトレーニング、肺炎を防ぐための生活習慣を紹介します。

『ハーベンハーバード大学法科大学院初の  
盲ろう女子学生の物語』 ハーベン・ギルマ 著 明石書店

ミレニアル世代のヘレン・ケラー

【自伝】 文

サハラ砂漠の灼熱の太陽の下での学校建設から氷山を登る体験、ホワイトハウスでのオバマ大統領との会見まで、障害を革新のチャンスと捉え、すべての人のアクセシビリティ向上をめざす弁護士として活躍する盲ろう女性・ハーベンのぞくぞくする体験をユーモアあふれる表現で綴った回想録。



『だから、あの人は嫌われる』 吉原珠央 著 幻冬舎

対人関係がうまくいかない人の解決策

【心理】 山

相談に乗ってもらったのに「なるほど」だけの返信、独りよがりの励まし...。「嫌われる人」の言動を詳細に挙げ、そういう人の扱い方や、周囲から「必要とされる人」になるために欠かせない考え方や手法を具体的に解説する。



※ 所蔵状況

文

文化会館図書室

山

山村開発センター図書室

裏面へ続く

文化会館図書室所蔵

山村開発センター図書室所蔵

● 『カザアナ』 森絵都 著 朝日新聞出版

国の規制が強まり監視ドローンが飛び交う空のもと、タフに生きる中学生の里宇とその家族。一家は、不思議な力を持つ「カザアナ」と出会い、人々を笑顔にするささやかな奇跡を起こしていく。

小説

● 『婿どの相逢席』 西條奈加 著 幻冬舎

小さな楊枝屋の四男・鈴之助は、相思相愛のお千瀬の生家である大店の仕出屋「逢見屋」へめでたく婿入り。誰もが羨む逆玉婚のはずだったが…。夫婦奮闘記。

小説

● 『万事快調(オール・グリーンズ)』 波木銅 著 文藝春秋

茨城のどん詰まり、底辺工業高校には噂がある。表向きは園芸同好会だが、その実態は犯罪クラブ。メンバーは3人の女子高生。彼女たちが学校の屋上で育てるのは、植物は植物でも大麻だった!

小説

● 『遠(とおく)の巷説百物語』 京極夏彦 著 KADOKAWA

盛岡藩筆頭家老にして遠野南部家当主の密命を受けた宇夫方祥五郎は、巷に流れる噂話を調べていたが…。<巷説百物語>シリーズの集大成。

小説

● 『神よ憐れみたまえ』 小池真理子 著 新潮社

昭和38年11月、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生した夜、12歳の黒沢百々子は何者かに両親を惨殺された。音楽家を目指す美貌の彼女の行く手に、事件が重く立ちはだかり…。生と死の意味を問う長篇小説。

小説

● 『ランチ酒 [3]』 原田ひ香 著 祥伝社

<見守り屋>の犬森祥子の夜勤明けの楽しみは「ランチ酒」。ある日、離れて暮らす10歳の娘から「話したいことがある」と連絡が入り…。珠玉の人間ドラマ×絶品グルメ小説第3弾。

小説

● 『長い一日』 滝口悠生 著 講談社

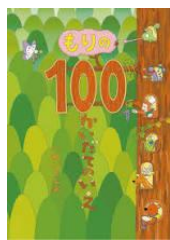
小説家の夫と妻をめぐる、長いつきあいの友人たちやまわりの人々、日々の暮らしの中でふと抱く静かで深い感情、失って気づく愛着、交錯する記憶…。かけがえのない時間を描いた長編小説。

小説

● 『梅花下駄』 佐伯泰英 著 文藝春秋

文政12年夏。江戸を焼き尽くした大火を乗り越え、復興に向け動き出す照降町。花魁・梅花から「新しい下駄」の制作を託された佳乃は、大火で命を落とした人々の鎮魂のための催しを思いつき…。

小説



● 『もりの100かいたてのいえ』

いわいとしお 作 偕成社  
「100かいたてのいえ」シリーズ第5弾。今回の舞台は森のなか!大きな木のなかにある、もりの100かいたてのいえにくらすのは、いったいどんな生きものたちでしょう。



● 『まんが星の王子さま』 サン=テグジュペリ作 奥本大三郎 文 やましたこうへい まんが 小学館

キツネとの哲学的な会話、砂漠から帰ってきたパイロットの日常など、文章ではなかなか想像できない、美しく切ない新たな「星の王子さま」をマンガで楽しむ。

おすすめ!

『ゆるっとかわいいイラストの描き方』

ボールペン1本で、センスいいってほめられる!

しろくまななみん 著 ワニブックス

(山村開発センター所蔵)



この本は、イラストレーターの しろくまななみんが  
楽しく、かんたんに かわいいイラストが描ける方法を  
教えてくれる本です。

ふだん私は、イラストは描かないけど、こんなに  
かわいいイラストだったら かいてみたいなあと思い、  
この本をみながら ノートにかいてみました。かき方  
のって、かんたんに描けて 夢中になってしまい、  
楽しくかくことができました。

デジタル社会の今! 手がきで かくことが  
少なくなっているように思います。

この本をみれば、字をかいたり、絵を描くことが  
好きになれる方もいると思います。

